

佐野武道館



ボーリング柱状図

調査名 佐野市武道館（仮称）建築工事設計業務委託（地質調査）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B - N O . 1		調査位置	栃木県佐野市堀米町地内				北緯	
発注機関	佐野市役所			調査期間	平成 2 年 5 月 9 日 ~	年 月 日	東経		
調査業者名	(株) 佐野企画建築設計事務所		主任技師	現代理人	コ ア 鑑定者		ボーリング責任者	君 山 忠	
孔口標高	K.B.M -0.185m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	水平 0°	使用機種	試錐機
総掘進長	12.18m	度						エンジン	K R - 1 0 0
									NS 7 5
									ハンマー 落下用具
									ポンプ
									V - 6

標尺	層厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試験採取方法	室内試験	掘進月日
										深	10cmごとの 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値	深	試験名 および結果			
(m)	(m)	(m)	(m)						(m)	(m)	0 10 20 30	(cm)		(m)	(m)	度	号	
1	-0.94	0.75	0.75	盛土	褐灰		極軟	上部大礫及びコンクリート片多い 全体にロームが主体	1.85	1.15	1	16	236					
2	-2.08	1.15	1.95	ローム質粘土	褐灰〜暗褐		極軟	上部約30cmは炭化ローム 粘性大 1.50m以深含水やや大となる	1.85	1.51	1	16	530					
3	-3.38	1.30	3.20	粘土	黄灰		中位	上部含水大 粘性大にて、凝灰質的である	1.85	2.15	1	2	530					
4	-5.58	2.20	5.40	凝灰質粘土	暗青灰〜黄褐		堅	上部若干の茶褐色泥じる所有り 4.00m附近黄褐色にて色調一定せず φ5〜10mmの礫少量混在 5.00m以深若干の腐植物混入	1.85	2.45	3	5	1430					
5	-6.58	1.00	6.40	砂	黄褐		極密	φ10〜20mmの礫5〜10cmの互層に混在 粒子不均一	1.85	3.15	3	5	1730					
6	-8.94	2.35	8.75	砂	黄褐		極密	φ10〜40mmの円礫及び亜角礫混入率約70% 所により粘土分帯びφ80〜100mmの大礫点在 8.00m以深含水やや大となる	1.85	3.45	8	9	2330					
7	-9.80	0.95	9.70	凝灰質粘土	暗青灰		極密	所により砂分多い φ5〜15mmの礫少量混在	1.85	4.15	8	9	5020					
8	-11.79	1.90	11.60	砂	黄褐		極密	上部若干の粘土分帯びる所有り 粒子不均一、含水少位 非常に締まっている	1.85	4.45	4	5	5020					
9	-12.37	0.58	12.18	砂	黄褐		極密	礫質にて礫多い コア採取φ30〜50mmの礫状及びφ5〜7cm位の粗粒状に可能	1.85	5.15	4	5	5020					
10									1.85	5.45	7	23	4930					
11									1.85	6.15	7	23	4930					
12									1.85	6.45	23	27	5020					
13									1.85	7.15	23	27	5020					
14									1.85	7.35	16	21	13424					
15									1.85	8.15	5	7	1930					
16									1.85	9.15	40	10	5012					
17									1.85	10.15	50	9	509					
18									1.85	11.15	50	9	509					
19									1.85	12.15	50	3	503					
20									1.85	12.18								

ボーリング柱状図

調査名 佐野市武道館（仮称）建築工事設計業務委託（地質調査）

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	B - NO. 2	調査位置	栃木県佐野市堀米町地内	北緯
発注機関	佐野市役所	調査期間	平成 2 年 5 月 10 日 ~ 年 月 日	東経
調査業者名	(株) 佐野企画建築設計事務所	主任技師	現 場 代 理 人	コ ア 鑑 定 者
ボーリング 責任者	君 山 忠	試 錐 機	K R - 1 0 0	ハンマー 落下用具
孔口標高	K.B.M. -0.025m	角 度	180° 上 90° 下	方 向
総掘進長	10.45m	度	270° 西 180° 南	地盤公配
		水平	鉛直	使用機種
		エンジン	N S 7 5	ポンプ
				V - 6

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験			原位置試験		試験採取		掘進 月日
									深 度 (m)	10cmこの 打撃回数 0 10 20 1 1 1 10 20 30	打撃回数／貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	採取 方法	
1	-0.73	0.70	0.70	盛土	褐灰		上部約30cmは凝灰ローム 以深粘土が主体	1.15	1	1	2					
2	-1.82	1.10	1.80	ローム 質粘土	褐灰 茶褐	極軟	上部約30cmは凝灰ローム 1.20m以深茶褐色と呈す 粘性大 1.50m以深含水大となる	1.80	1	1	2					
3	-3.02	1.80	3.00	粘土	黄茶褐 黄灰	中位	凝灰質にて粘性大 3.00m以深若干の砂分帯び、黄 灰色と呈す	2.15	1	1	2					
4	-5.58	1.80	5.50	凝灰質粘土	黄灰	堅	全体に少量の砂分帯びる 粘性やや大 4.00m以深φ5~8mmの小礫 若干混在 5.00m附近砂分やや多い	2.45	2	3	3					
5								3.15	2	3	3					
6								3.45								
7								4.15	4	4	4					
8								4.45	4	4	4					
9	-9.68	4.10	9.60	砂	黄灰 黄褐	極密 密	上部約20cmは砂である φ10~40mm、混入率約70% 円礫及び亜角礫多い 所々にφ70~100mm位の大礫 混在 若干の粘土分帯びる 7.00m下部に従い含水大となる	5.15	4	5	4					
10	-10.48	0.85	10.45	凝灰砂 質粘土	黄褐	堅	φ5~10mmの礫若干混入 粘性やや大、砂分所により多い	5.45	4	5	4					
								6.15	16	21	13					
								6.40	15	24	11					
								7.15	13	17	20					
								7.38								
								8.15	16	17	11					
								8.44								
								9.15								
								9.45								
								10.15								
								10.45								

ボーリング柱状図

調査名 佐野市武道館（仮称）建築工事設計業務委託（地質調査）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B - N O . 3	調査位置	栃木県佐野市堀米町地内	北緯	
発注機関	佐野市役所	調査期間	平成 2 年 5 月 1 2 日 ~ 2 年 5 月 1 3 日	東経	
調査業者名	(株) 佐野企画建築設計事務所	主任技師		コア鑑定者	
孔口標高	K.B.M +0.025m	角	180°上 90°	方	北 270°西 90°東 180°南
総掘進長	15.45m	度		向	
		地盤割配	鉛直 90°	水平 0°	
		使用機種	試錐機	K R - 1 0 0	ハンマー 落下用具
		エンジン	N S 7 5	ポンプ	V - 6

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験 深 度 (m) 10cm 打撃回数 0 10 20 1 1 1 10 20 30	N 値	原位置試験 深 度 (m) 試験名 および結果	試験採取 深 度 (m) 試料番号 採取方法	室内試験 ()	掘進 月 日
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	事							
1								上部約50cmは礫及びコンクリート片多い 以深ローム質となる 1.80m以深含水大にてローム質粘土	1.15 1.58 2.00 2.70 3.00	1 20 23 0 0	2 43 70 70				
2								4.00m附近より黄褐色及び暗青灰色の互層の粘土 所々に暗褐色のローム混在する	3.70 4.15 4.65	1 1 1	0 0 50				
3								若干の砂分混入、粘性大	5.15 5.45 6.15	2 1 1	5 30 24				
4								上部所により10~15cmに砂挟む φ10~40mmの円礫及び垂直礫多い 所々にφ70~100mm位も混在	6.39 7.15 7.37	19 20 24	12 4 50				
5								7.00m下部に従い含水大となり、粘土分若干帯び黄褐色と呈す	8.15 8.41 9.15	17 15 14	13 6 12	50 26 41			
6								所により砂分やや多い φ5~10mmの礫若干混入 粘性やや大	9.45 10.15 10.45	3 3 5	11 30 17				
7								上部若干の粘土分帯びる 粒子均一、含水少位	11.15 11.32	25 25	50 17				
8								上部若干の小礫混入し、粘土質的な所もある 粘性やや大、含水少位 所々に緑灰色の砂ポケット状に少量混在	12.15 12.45 13.15	6 5 7	5 8 20	16 30 30			
9								13.00m以深より砂分やや多く帯びる所あり	13.45 14.15 14.45	6 7 8	21 30 30				
10									15.15 15.45	8 8	8 24				

ボーリング柱状図

調査名 佐野市武道館（仮称）建築工事設計業務委託（地質調査）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B - N O . 4		調査位置	栃木県佐野市堀米町地内			北緯	
発注機関	佐野市役所			調査期間	平成 2 年 5 月 1 1 日 ~ 年 月 日		東経	
調査業者名	(株) 佐野企画建築設計事務所			主任技師		コ ア 鑑定者	ボーリング責任者	君 山 忠
孔口標高	K.B.M -0.08m	角	180° 上 90° 下	方	北 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	水平	
総掘進長	10.45m	度		向		試錐機	K R - 1 0 0	ハンマー 落下用具
						エンジン	N S 7 5	ポンプ
								V - 6

標尺	層高	厚	深	柱状	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試験採取		掘進月日
												深	10cmこの打撃回数	N 値	打撃回数 / 貫入量	深	試験名および結果	深	試験採取方法	
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度				度	度	度	度	度	度	度		
	-0.83	0.75	0.75		盛土	褐灰			上部約50cmは礫及びコンクリートで構成			1.15	1	1	2					
1	-1.58	0.75	1.50		ローム	褐灰			上部腐化ローム的 植物根少量帯びる、粘性やや大			1.48	1	1	2					
2					粘土	黄茶褐			上部変わり目約30cmはローム質的 以深粘性大にて凝灰質となる			2.15	1	1	2					
3						黄灰			含水やや大 3.00m以深黄灰色と呈し、含水小				2.45	1	2	2	5			
4	-3.73	2.15	3.85			凝固粘土	黄灰			極く少量の砂分帯びる 粘性やや大			3.15	4	4	4	12			
5					砂	黄灰			4.80m附近より緑黄灰色と呈す 5.80m附近より若干の硬固する			3.45	4	4	4	12				
6	-6.13	2.45	6.10			黄灰			上部6.40m附近までは暗青灰色にて粘土混じる φ1.0~4.0mmの円・亜角礫 混入率約80%				4.15	4	5	5	14			
7						黄灰			所々に100mm前後の大礫点在 8.00m以深黄褐色にて含水やや大				4.45	4	5	5	14			
8	-9.73	3.55	9.65		凝固砂質粘土	黄褐			若干の粘土分帯びてくる			5.15	8	16	22	40				
9	-10.53	0.80	10.45									5.45	21	25	4	50				
10												6.15	20	30	9	50				
												6.45	15	13	12	40				
												7.15	3	4	6	13				
												7.36								
												8.15								
												8.34								
												9.15								
												9.45								
												10.15								
												10.45								